

2021年10月13日

自治体学会会員の皆様へ

日頃から、自治体学会の活動にご協力をいただきありがとうございます。

9月16日から10月7日まで、書面会議により開催いたしました「2021年度自治体学会総会」の結果について、事務局より、ご報告をいたします。

総会に提出した、第1号議案2020年度事業報告案、第2号議案2020年度決算報告案、第3号議案中期事業計画案、第4号議案2021年度事業計画案、第5号議案2021年度収支予算案、第6号議案基金の設置について案 については、個人会員72名、団体会員13団体の方々から議決書をいただき、精査した結果、全員、全議案に対し「可」とする回答を確認いたしました。

よって、総会に提案した全議案について、すべて可決されました。

この間、意見募集と9月19日にはZoom会議による意見交換会を行いました。そこで提出されたご意見・ご質問及び回答等については、すでにお知らせしたとおりです。

主なものを紹介しますと、意見質問票の提出においては、例えば、大会開催費のその他の項目の内容についてご質問がありましたが、これについては、Zoom会議開催費用に加え、大会運営にかかる費用との説明を、事務局からさせていただきました。

また、意見交換会では、会員の拡大策や学会ホームページへの掲載基準等をつくったほうが良いのではないかとのご意見があり、いずれも、今後いろいろな方々のご意見をいただきながら対応を検討していきたい旨の説明を、事務局からさせていただきました。

この意見交換会の中では、学術問題検討委員会報告についてもご意見がありました。この問題に関しては、多様なご意見がある中で、評議員会として報告書についてコンセンサスを得るための見解を取りまとめていただいております、そのコンセンサスが得られたら、評議員会に対して連帯責任を負う理事会として、評議員会の方針を受けて対応していきたい旨の表明が、理事長からありました。

上述した質問、意見、および回答については学会のホームページに掲載しておりますのでご参照ください。

以上が、「2021年度自治体学会総会」の結果報告となります。

今後とも、金井理事長、前川副理事長、小泉副理事長のもと、自治体学会の活動に事務局として最善を尽くしてまいりたいと思います。

会員の皆様のご協力をお願いいたします。

自治体学会事務局

杉淵